

## 平成28年度 第1回函南町立図書館協議会 議事録

- 1 日 時 平成28年7月13日(水) 15時～16時30分
- 2 会 場 函南町立図書館 2階 研修室
- 3 出席者 委員 富永 和彦 学識経験者  
今泉 良三 社会教育関係者  
石田 和久 学識経験者  
中村 忠和 社会教育関係者  
酒井 大二郎 学校教育関係者  
稲葉 優子 家庭教育活動者

事務局 芹澤 富男  
大沼 裕幸  
牧野 満枝

- 4 公開・非公開 公開

の 別

- 5 傍聴人の数 0人

- 6 内 容

(1) 開会

(2) 森延彦 函南町長 挨拶

事務局紹介

(3) 大沼裕幸館長 図書館運営の基本方針及び図書館協議会の趣旨説明

(4) 報告事項

① 平成27年度事業報告

- ・平成27年度函南町立図書館利用状況
- ・平成27年度末蔵書数
- ・平成27年度実施業報告

各委員から出されたご意見

委員 蔵書数報告説明の中で新聞については、消耗品である。とのことでしたが、保存年限、廃棄方法についてはどのようになっていますか。

事務局 伊豆日日新聞については、永年保存。他の新聞については1年間の保存となっています。ただし、朝日新聞、静岡新聞、伊豆日日新聞、日経新聞については、データベース検索システムを契約してあるので、簡単に報道資料を検索をすることができ、図書館利用者サービス及びレファレンス資料として活用しています。

委員 蔵書を増やす時に利用者の年代を考慮することはありますか。

事務局 当館では、資料収集方針に基づき幅広い年齢層にあった資料の収集をしていますが、結果として利用者の多いシニア層に役立つ趣味や生涯学習関係の

本が多くなっており、利用が少ない世代である働き盛り世代の好む本が少なくなっているかもしれません。少ないから来館しない。来館しないから少ないということもあるかもしれません。専門書ではない、みなさんにわかりやすい本を中心に収集しています。利用者が特別に読みたい本については、リクエストサービスを設けてあります。

委員 大型絵本については、蔵書が網羅されている。併せて大型紙芝居の購入も配慮願いたい。読み聞かせなどに利用していきたい。

事務局 選書本に掲載がある時には、漏れなく購入するようにしている。書店では販売していないネット販売本は町の事務手続き上、購入できない場合がある。良い情報がある時には、教えていただきたい。

委員 読み聞かせ時に、季節のプレゼントなど子どもたちに渡したい時がある。折紙などではあるがいただけるか。

事務局 是非事務局に声をかけていただきたい。ご用意します。

委員 資料2の利用人数は、本の貸出利用人数のことだと思うが、本の貸出利用をしない勉強目的の中高生の利用や新聞雑誌の閲覧のみ利用人数もかなりあるのではないかと感ずる。

事務局 資料には提示していませんが、来館者人数も統計として把握しています。入口BDSにより来館者数をカウントしています。しかし、年代まではわからない。今年3月に行ったアンケートの中に「本日の来館目的」を質問した項目があり、その回答として一番多かったのは、本や雑誌を借りる58%、CD、DVDを借りる5%、図書館の中で本や雑誌を読む13.8%、新聞を見る2%、勉強調べ物15.8%でした。来館者総数人数としては、平成26年度104,545人、平成27年度106,793人でした。

委員 図書館は、学校帰りにランドセルを背負ったまま利用してもよいでしょうか。

事務局 図書館としては、利用の制限はないが、学校としての対応は異なるかもしれません。図書館を親との待ち合わせの場所に利用してもらっても安全だし良いと思います。

議長 学校としては、学校から家までまっすぐ帰ることが基本である。

委員 図書館は地理的に三島市に近い。函南町民と他市町利用者の利用に違いはあるか。

事務局 協定を結んでいる6市2町（三島市・沼津市・伊豆の国市・伊豆市・熱海市・裾野市・長泉町・清水町）の方は利用者カードを作成することができますが、住んでいる市町の図書館利用者カードを提示しないと作成できません。利用に関しては貸出、返却、延長については制限はありませんが、予約、リクエストは町在住・在勤・在学者に限定したサービスとなっています。お住いの図書館でも同様のサービスが受けられるのでそちらでの利用をお願いしています。平成27年度統計では25%の方が町外利用者。75%が町内利用者となっています。資料2の数字は町内外全ての利用人数になっています。

委員 本の返却場所は、図書館だけですか。

事務局 基本図書の返却は、図書館のみとなります。図書館休館日は、ブックポストへの返却をお願いしています。

委員 子どもたちは、返す時の手間を考えて借りることを躊躇することも考えられる。図書館以外の場所、例えば役場などに返却ポスト等おいてもらえると良いと思う。返却がめんどろに思い借りないことも多いのでは。

事務局 子ども達のためには、学校に町図書館用の返却ポストを設置してもらえると良いかと思ひます。それには、図書館の意向を伝え学校の意見も聞いて、いろいろ取決め等していかなければならない。ご意見としていただひておひて、今後学校等と相談しながら考えていきたくひ。出張貸出の時にも学校に本の回収に行くので、良いしくみを作つていきたくひと思ひます。今後の検討課題とさせていただけます。

## ② 平成28年度事業計画について

事務局 平成28年度事業計画としては、平成27年度事業を基本としそこに新たに事業を盛り込みました。8月7日は夏休みイベントとしてわくわくまつりを計画しています。夏休み期間中は、子育て交流センターとも協力し様々なイベント（自由研究教室、工作教室、子ども図書館体験など）を実施します。

既に実施済の事業として、町内小学校3年生、中学校1年生による図書館見学。小学生には地域のことの調べ方学習と実際に本を選んで借りてもらう体験学習をしました。中学生は、本での調べ学習の方法を学習し、班ごとに協力して調べ学習問題を図書館の本を利用し解いてもらひました。また中学校職場体験の実施。両中学校4名ずつ体験しました。視察申込みも多数あり受け入れています。今年度の学校への出張貸出は、昨年度より回数を増やして実施します。既に1回ずつ実施しましたが、2年度めとなったので周知もされ利用も多くなつています。今後3回ずつ実施します。また今年度新たな取り組みとして「親子読書」の観点から、親子で本を選んで借りてもらう機会を1回ずつ設けてあります。

今年度、読書記録ノートの作製に取り組んでいます。教育長より提案いただき子ども達のアウトプット能力を高めるためにも、本を読むだけに終わらせずさらに一歩踏み込み自分で読んだ本及び感想を記録をする。というものです。平成30年開館5周年記念事業として小中学生に配布を考えています。次回協議会において報告させていただきます。

また今年度の新たな取り組みとして、南高校生と一緒に2階特集展示コーナーの作製をします。南高校に協力を呼びかけ募集を行いました。高校生を主体とし、テーマや本を選定し、本の紹介ポップなどを夏休みを利用して作成してもらひます。中高校生世代の興味関心を喚起したいと思ひています。また夏休み中には、高校生の職場体験も実施予定です。

各委員から出されたご意見

委員 今年度の図書館わくわくまつりとねこまつりが同一日となつており、昨年度も同一日であったので、町の事業としてもつたいないと感じる。

事務局 わくわくまつりは、講師を依頼する関係から4月当初から日程調整します。  
8月の2週目はお盆と重なるので第1週を予定としてたてています。例年は、ねこまつりが土曜開催でしたが、今年度は日曜日になってしまい重なってしまいました。来年度の検討課題とさせていただきます。

委員 子どもの読書記録ノートの件ですが、私は図書館のシール印刷機を利用している。本を借りると必ずシール印刷機でプリントアウトし、自分のノートに貼って記録としている。大人にもシール印刷機を宣伝し利用してもらおうと良い。また借受についてですが、視聴覚の借受はできないでしょうか。函南の図書館の蔵書特色として、仏像関係の本、大型絵本や大型紙芝居はたくさんある。予算に限りもあるので、当館に蔵書がない本については他館からの借受にて対応していくと良いと感ずる。

事務局 協定を結んでいる6市2町の方は当町の利用者カードを作成することができます。函南町にない本は、県内図書館、県外図書館、国会図書館まで借受することができます。ただし、県外図書館からの借受には利用者の方から半額送料を負担してもらっています。昨年度の借受実績は、函南町から他館へ貸出した冊数823冊、他市町から借り受けた冊数637冊となっています。図書室時代は、他館から借りる一方でしたが、現在は、貸出数の方が多くなっている状況です。

議長 今年度の新規事業も多く紹介がありました。読書ノートや南高校とのコラボレーションなど、次回報告いただきたい。その他事業全般についてご意見ありますか。ないようですので、これで事務局にお返しします。

事務局 次回開催は、来年3月末頃を予定しております。日程が決まりましたら改めて通知させていただきますので、よろしく願いいたします。

協議会は、年2回しかありませんので、年度途中でもお気づきの点等ございましたら、お気軽に事務局までご意見をお寄せください。

(5) 閉会 芹澤富男 生涯学習課長

